



高水地協ニュース

〒383-0025 中野市三好町 1-1-19 Tel.0269-23-0505 Fax.0269-38-0575

連合長野
高水地域協議会

○ 発行責任者 小林 君男

○ 編集責任者 岩本 淳一

2014 春闘勝利総決起集会を開催

すべての組合が月例賃金の引上げに拘った闘争を進めよう！

全国の主要大手組合が春季闘争の山場を迎える中、追従する地協の構成組合の団結と情報交換をはかるとともに、本闘争の勝利に向けた盛り上がり醸成するため、連合長野からは中山会長に駆けつけていただき、須高・北信地連のそれぞれにおいて地元の労働団体と共催により「2014 春闘勝利総決起集会」を開催しました。

<須高地連>

日 時：2014年3月6日(木) 午後6時15分～

会 場：須城市役所防災広場

決意表明：ニッソー労組、農団労須高労組

参加規模：地連加盟 11 組合、他団体を含め総勢 430 名

<北信地連>

日 時：2014年3月12日(水) 午後6時30分～

会 場：中野市勤労者福祉会館

決意表明：富士電機 PS 労組飯山支部、農団労中野市労組、全コシナ関連労組、木島平村職員労組

参加規模：地連加盟 19 組合、他団体を含め総勢 420 名



夕刻の寒い中、市役所の駐車場で集会を開催(須高地連)

総決起集会では、主催者側より「我々はこれまで一時金を含めて実質賃下げという、我慢と痛みを強いられてきた。今回は報道による政・労・使間の発言を聞き限りべ・ア実現の方向にはあるが、中小・零細企業では依然と厳しい経営環境に置かれていることから、べ・ア実現は大手企業やその系列企業に特化するのではないかと懸念される。しかし、我々は今回こそ“すべての組合が月例賃金の引き上げに拘る”という強い信念をもって労使交渉に臨むべきであり、そのためにも大手組合の交渉状況を注視するとともに、その結果については我々の今後の交渉材料として経営側を説得し、春闘勝利に向けて力強く前進していくことが必要である」等の激を発しました。

その後、中山会長はじめ地域の議員団から激励挨拶をいただき、構成組合代表から自組織を取り巻く情勢報告と労使交渉に臨むための決意表明がなされ、最後に「2014 春闘勝利総決起集会アピール」が採択されて閉会しました。

なお、須高地連では4列縦隊により、声高々とシュプレヒコールを連呼して須城市内をデモ行進しました。



勤労者福祉会館の講堂において集会を開催(北信地連)

『第3回地協ユニオンスクール』の開校

「労働組合をいきいきと輝かせ、人が人として尊重される社会をつくろう」とのテーマで、本年度のファイナルとなる第3回地協ユニオンスクールを開校しました。

講義内容は、①「ろうきん」「全労済」とは(労組が創った労金・全労済⇒労金・全労済の設立趣旨書と労金・全労済の目的・理念とは。民放のVTRで歴史と事業を紹介。②労金・全労済を賢く使おう！(組合員の可処分所得の最大化に貢献。ライフイベント毎の必要なマネー・保障プランは？ 労金：ATM手数料は実質ゼロ、家族を応援する各種ローン、返しやすい住宅ローン、貯まるTHEポイント、労組活動を

応援など。全労済：必要な保障に絞り掛金の削減をはかれ、年齢増に伴う発病リスクの高まりから65歳以降の保障設計の組立が必要、賃金収入の実態を見据えて他の生保見直しにより可処分所得の向上を図る等)、③労組の基本は。三つの任務(経済的活動・政治活動・共済活動)。今の労組実態を検証し役割を再確認。職場原点活動が基本。④まとめ……等

日 時：2014年3月1日(土) 午前10時より

会 場：中野市人権センター会議室

講 師：小林 君男(地協議長)

参加者：50名(20労組)



『労働者保護ルールの改悪阻止』のための街宣行動

連合長野では、2月17日～3月23日の5週にわたり、2014春闘広報活動として『労働者保護ルールの改悪阻止』のための街宣アピールを行ってきました。第3週（3月3日～7日）は高水地協が担当し、長野市を中心に南は小川村・信州新町、西は鬼無里・戸隠、東は須坂市・高山村・小布施町、北は栄村・野沢温泉村・木島平村・飯山市・山ノ内町・中野市・飯綱町・信濃町の広範囲にわたり、連合長野の広報車を走らせ、次の内容の放送を流してきました。

〔趣旨アピール〕

こちらは働く者の連帯組織、労働組合の『連合』です。

安倍政権では、成長戦略という“美名”のもとで解雇の自由化や派遣労働の規制緩和といった、働く人を保護するルールの改悪を行おうとしています。働く人の権利を次々に奪い、世界で一番ビジネスがしやすい国を創る、こうした働く人を成長の踏み台にするような動きを、働く人の力を結集して阻止する必要があります。

今日はこの場所をお借りして、政府で行われようとしている『労働者保護ルールの改悪』の状況と問題点についてお話致します。



長野・北信地域を街宣した連合長野キャラバンカー

<首切り自由化に向けた動きを阻止しよう>

いま安倍政権は「首切り自由化」とも言える制度の導入に向けた議論を行っていることは、皆さんご存知でしょうか？「解雇の金銭解決制度」という制度です。

現在の制度では、労働者が不当に会社から解雇された場合、裁判に訴えその解雇が無効という判決を勝ち取った場合に労働者は元の職場に復帰できることが原則となっています。しかし、安倍政権は「お金さえ払えばその労働者を職場に復帰させることなく、首にできる仕組み」を導入しようとしています。もし、このような仕組みができてしまえば、企業は裁判で負けるリスクなどお構いなしに、解雇したい労働者をドンドン首にするでしょう。そして、“お金さえ払えば解雇できる”という世の中に広まってしまいます。

こうした「首切り自由化」に向けた動きは、私たち働く者が声を上げて阻止していかなければなりません。

<残業代不払い制度の導入を阻止しよう>

いま安倍政権は、「会社が何時間残業させても、残業代を全く払わなくて良い」という制度の導入に向けた議論が行われていることは、皆さんご存知でしょうか？

これは「ホワイトカラー・エグゼンプション」という制度で、年収が一定以上の労働者については、会社はどれだけ長時間の残業をさせたとしても、残業代は全く支払わなくても

良いという制度です。こうした残業代不払い制度を、皆さん許せますか？

また、このような制度ができると、私たちはタダ働きさせられるだけではありません。会社は残業代を気にしなくて良くなるのですから、私たちに一層の長時間労働を強いるようになるでしょう。これは“ワーク・ライフ・バランス”を全く無視した制度でもあるのです。こうした残業代不払い制度の導入は、私たち働く者が声を上げて阻止しなければなりません。

<首切りし易い“限定正社員”制度を阻止しよう>

いま安倍政権は、「勤務地や仕事内容が限定された正社員を増やそう」としていることを、皆さんご存知でしょうか？これは「限定正社員」という制度です。

この限定正社員の制度は、既に多くの企業で導入されており、勤務地や仕事内容などが限定されることで、自分の希望に合った働き方ができるという面もあります。しかし、安倍政権ではこの限定正社員を増やすことと、解雇ルールの見直し等をセットで議論しているのです。

具体的には、これまでの正社員から勤務場所や仕事内容を限定した「限定正社員」になった場合、会社が勤務地や仕事内容を廃止さえすれば、正社員なのにとても簡単に解雇できる仕組みにすることが想定されているのです。これまでの正社員であれば、会社は解雇を回避するために自ら努力して、新たな勤務地や仕事を探す義務を負っていました。限定正社員ではそうではありません。

こうした解雇ルールを同時に見直し、まさに“首切りし易い正社員”をつくらうという動きは、私たち働く者が声を上げて阻止しなければなりません。

<派遣労働に関するルールの見直しを阻止しよう>

いま安倍政権で、「派遣労働に関する見直し」の議論が行われていることは、皆さんご存知でしょうか？

安倍政権で行われようとしている派遣労働に関するルールの見直しは「派遣労働者は派遣で、働き続けられるルールにする。これによって、派遣労働者をドンドン増やす。正社員を減らそう」というものなのです。しかも、派遣労働者の雇用の不安定さや低賃金であることは全く放置したままという、信じられないような見直しが行われようとしています。もし、このような見直しが実現となれば、正社員から低賃金の派遣労働者への置き換えが起こることは明らかです。まさに“正社員ゼロ”“生涯派遣で低賃金”という未来が待っているのです。「派遣は派遣、自分には関係ない」と考える方が多いのではないのでしょうか。けれども、決して“そうではない”ということを是非分かっていただきたいのです。

こうした「正社員をゼロにして、低賃金の派遣労働者をドンドン増やそう」という動きを、私たち働く者が声を上げて阻止していかなければなりません。そして今こそ、派遣労働者の労働条件の改善をシッカリ行うようなルールの見直しが必要なのです。



肩を落としてうな垂れる労働者(イメージ)

中野市議選に中村明文氏を推薦

来る4月13日の告示・4月20日投開票で施行される中野市議会議員選挙に、中野市職員労組出身の中村明文を推薦決定しました。

〔略歴〕1985年より中野市職員労組執行委員、書記長(3期)、執行委員長(5期)、中高地区労組会議議長を歴任。2004年より自治労長野県本部書記長～中央執行委員長、連合長野副会長(4年)。現在は、自治労長野県本部副中央執行委員長、長野県部落解放共闘会議副議長、長野県地方自治研究センター副理事長、中高地区部落解放共闘会議議長



行政経験生かし、やさしい中野市へ

中村明文 8つの提言

働く者にやさしいまちづくり

今まで働く仲間と携わってきた経験を生かし、働く者の環境改善に向けた提言をします。

高齢者・障がい者にやさしいまちづくり

○高齢者人口が増加しており、お年寄りが住みやすいまちづくりをめざします。
○高齢者・障がいのある方の利便性を高めるため、道路・地域公民館などの公共施設のバリアフリー化を提言します。

子育てにやさしいまちづくり

未来の中野市を担う子どもたちを育てるため、皆さんと協働で子育てを考えます。

人権・環境のまちづくり

○人権は人が人として認められた権利です。そのため、あらゆる差別をなくす取り組みを提言します。
○環境を重視した省エネのまちづくりが必要です。公共施設のLED化をはじめ省エネ施策を提言します。

中野市の財政に提言

中野市・豊田市の合併から10年が経とうとしています。長年、地方財政・地方交付税を研究してきた経験を生かし、中野市の健全な財政運営に資するよう提言していきます。

文化薫るまちづくり

○中山晋平、久石譲、高野辰之、菊池契月など多くの文化人を輩出している中野市を、一層文化薫るまちづくりに向けた提言をします。
○社会教育事業として公民館活動を行ってきた経験、音楽を愛好してきた経験から、明るい社会教育・文化行政を皆さんと協働して提言します。また、スポーツの振興も図ります。

市街地活性化へ

市内4カ所は人口・世帯数が減り続けている中で、中野市街地を活性化させるため、皆さんと協働で考えることを提言します。

農業振興・工商業者の活性化

中野市は農業が盛んな町として全国的に有名です。中野市農業の6次産業化(農業・商業と連携した取り組み)を提言します。

小布施町議会へ陳情の趣旨説明に訪問

先に提出した陳情について、小布施町議会から趣旨説明を求められましたので、3月10日(月)に連合長野高水地協として小布施町議会・政策立案委員会へ伺いました。

席上、小林議長が「労働者保護ルール改悪に反対する議会決議を求める陳情」について約20分の趣旨説明を行い、委員会の議員や傍聴の他の議員により、字句の解説や意味の説明、そして地元の各企業に及ぼす影響などこと細かな質疑応答が約30分間ありました。

質問については慎重に答弁し、陳情の趣旨をご理解いただき、議会の審議を経てぜひ決議をいただくように、重ねてお願いして参りました。



小布施町議会(政策立案委員会)で説明する小林議長

『親子ふれあいフリーパス』の販売

長野電鉄 電車線乗車券

北信濃ロマン街道・親子ふれあいフリーパス

有効期間 2014年5月1日(木)～5月6日(火) [6日間] 中学生以上 大人1名

乗降自由・乗り放題 長野電鉄「電車線」全線適用

ただし、特急は別途「特急券」が必要です。

バス路線はご乗車できません。

通勤・通学・団体でのご利用はできません。

この券を提示することにより

- 茶臼山動物園、須坂市動物園 ▶ 団体割引適用
- 松代荘、アゼイリア 飯綱 ▶ 入浴料金割引
- 千曲川リバーフロントローラースケート場 ▶ 貸靴無料
- 長野 グランドシネマス ▶ 当日窓口購入時割引

保障のことなら 全労済

第85回長野県メーデー企画

北信濃ロマン街道・親子ふれあいフリーパス実行委員会

【連絡先】長野地域協議会、高水地域協議会
 【労働会庫】本店営業部、長野東支店、中野支店、須坂支店、更埴支店
 【全労済長野支所(特設ショップ)長野店】
 【労働】長野地区労働協、北信地区労働協、須坂地区労働協

長野電鉄電車線とアルピコ交通(川中島バス)の長野地区バス路線のフリーパス券を販売します。ご購入いただくと、従来の各種特典のほか「長野グランドシネマス」の200円割引が適用されるなど大変お得な内容です。ゴールデンウィークにご家族で、長電やアルピコ(川バス)の電車・バス路線の小旅行を体験し、私たちが提唱することを改めて思い浮かべていただき、今後も“公共交通の必要性”についてのご賛同とともに、本路線を積極的にご利用いただけたら幸いです。

お求めは、当該の労働組合書記局までお願い致します。また、長野・須高・北信の各地区労協事務所、連合長野の長野・高水両地協事務所、長野県労働金庫の本店営業部ならびに長野東・更埴・須坂・中野各支店、全労済長野支所ショップの窓口においてありますので、お買い求めいただけます。

なお、本フリーパス券は大変に人気を得ております。早い段階ですと増刷対応はできませんが、実施日に近づくにつれ売切れる場合があります。大変申し訳ありませんが、お買い求めはお早めをお願い致します。

販売するフリーパス券の見本(大人券)

毎年、北信地域メーデーの一環として、長野県労協(長野・須高・北信各地区労協)と連合長野(長野・高水両地協)および長野労金(本店営業部・長野東・更埴・須坂・中野各支店)、全労済長野支所が実行委員会を組織し“皆で残そう公共交通”“育てよう笑顔を運ぶ公共交通”を広く勤労者へアピールするため『北信濃ロマン街道ふれあいフリーパス』を販売しており、本年も5月1日～5月6日の期間の長

<フリーパス券の販売価格>

フリーパス券は、長野電鉄電車線およびアルピコ交通(川中島バス)長野地区バス路線の2種類となります。販売価格は、ともに大人券1,300円、子供券650円となります。

第85回須高・北信地区メーデー開催予定のお知らせ

第85回の地区メーデーは、須高地連・北信地連ともに参加予定の労働団体を招集して実行委員会を立ち上げ、これから具体的な実施計画を検討するところです。

各地連ともに5月1日開催を予定しており、須高地区メーデーは例年通り4コースに分かれてのデモ行進でスタートし、最終的に須坂メセナホールに集結します。そのあと、大ホールにてメーデー集会など各種イベントを開催し、概ね正午頃に終了することになります。また、北信地区メーデーは昨年飯山市の二の丸城址広場で開催しましたが、本年は中野市の中野陣屋前広場で開催する予定です。なお、詳細につきましては、実行委員会と運営委員会において決定次第、適宜

お知らせ致します。

各単組には、例年通りデコレーションカー・アピールブラカードの製作と提供をお願い致しますので、ご対応のほどよろしくお願い申し上げます。

<メーデーの起源と歴史>

メーデーは、1886年5月1日にアメリカの労働者が8時間労働制を要求して立ち上がったのが最初です。日本では、1920年に第1回が開催されました。戦争による中断もありましたが1946年に再開され、今回で85回のメーデーを迎えることとなります。

働く者の団結で、私たちの要求を実現させましょう。

加盟単組紹介

◇ 太陽誘電モバイルテクノロジー労働組合須坂支部 ◇

私たちの労働組合は須坂市の中心部に位置し、昭和初期に蚕糸業が盛んだった片倉製糸(株)田中製作所の工場跡地に電話機製造会社、富士通信機(現:富士通)須坂工場の組合として67年前にスタートしました。現在も、工場敷地内に当時の白壁の蔵が残っており、伝統と歴史を感じさせる趣があります。

組合組織体制は執行委員5名、書記1名、組合員数350名で構成され、須坂、所沢、新横浜、青梅の拠点で従事しております。2002年に東北メディアデバイス(株)と富士通(株)須坂工場の会社合併により富士通メディアデバイスプロダクツ株式会社(本社青森県)が発足し、その後、会社の構造改革と成長戦略のもとで、本社の閉鎖をはじめ、事業の譲渡・再編などが行われ、その都度、多くの従業員の転勤、やむを得ず組織から離れていく組合員など、これまで幾多の苦難を



支部執行委員・職場委員の面々(職場委員研修会)



3月に行われたボウリング大会

乗り越えてきました。2010年、同業他社であった太陽誘電グループ傘下となり、携帯電話の部品を主力とした高周波デバイスの製造会社(本社神奈川県)として現在に至っております。前述の会社施策により組合員の約1/3は青森からの転勤者で故郷を離れ仕事に励んでおります。(八戸ナンバーの車は、ほぼ当社の従業員です)

新年度では青梅事業所の拠点展開が本格化し、組合員の移動に伴う職場環境の整備が急務となっています。組合活動では働きがいのある職場作り、また福利厚生活動として文体行事やセミナーの開催、労金・全労済・産別の商品・共済を推奨し組合員のライフサポートに努めて参ります。今後ともよろしくお願い致します。(執筆:執行委員長 徳武 秀明)

新しく組合員になられた方へ(全労済からのお知らせ)



全労済は、消費生活協同組合法にもとづき、非営利で共済事業を営む生活協同組合の連合会です。生活協同組合は、組合員の参加により運営されており、出資金をお支払いいただければ、どなたでも都道府県生協の組合員となることができ各種共済に加入できます。新しく組合員となられる方には、生活協同組合運営のために出資(1,000円以上)をお願いしています。出資金は1口100円で、最低1口以上の出資が必要です。出資金は、加入される共済の掛金払込方法に応じてお願いしています。

なお、すべてのご契約を解約された場合、または契約が失効となり、効力を失った場合等で、引き続き事業をご利用さ

れない場合には、速やかに最寄りの全労済へご連絡をいただき、組合員出資金返戻請求の手続きを行って下さい。

また、3年以上事業を利用されず、住所変更の手続きをいただいていない場合には、脱退の予告があったものとみなし、脱退の手続きをさせていただく場合がありますのでご注意下さい。

<出資金>

※こくみん共済・自然災害保障付火災共済:掛金の払込方法が月払いの場合:1,200円(毎月100円×12ヵ月)
※マイカー共済:掛金の払込方法が月払い・年払いの場合ともに出資金1,000円(1回のみ)